

クロックアップ・サイリックス9回公演上演台本

# 漂白詩人

作・演出／川原 武浩

出演稼業

洗濯屋

濱崎

留衣

染物屋

遠藤

咲子

選択屋

森久

智江

流れ者

中島

信和

洗い者

上瀧

昭吾

忘れ者

長岡

暢陵

スタッフ

照明

西本 正明 @ シーニツク

音効

青井 美貴

装置

兄弟船

闇の中、「パン」と、軽やかな音が響き渡る。  
静かに、音楽。

舞台には天にまで届くような梯子。

その間には無数の紐が渡され、色とりどりの衣服がつるさされている。  
明るい午後の日差しの下、かご一杯の洗濯物を抱えた3人の女。

シャツの皺を伸ばす「パン」という軽快な音。

踊るように次々と、白いシャツの皺を伸ばしては干していく。

3人の女、ふと手を止めて・・・。

選択屋  
時々途方にくれることがある。

洗濯屋  
洗っても、洗っても、洗いつくせない程の洗濯物。

染物屋  
着て、汚れ、そして洗う。繰り返す、繰り返す、無限連鎖。

選択屋  
擦り切れ、朽ち果てるまで止まらない、終わらない日常。

洗濯屋  
洗っても、洗っても、洗いつくせない程の洗濯物。

染物屋  
洗えば、また着、また汚れ

選択屋  
そんな終わらない日常の中で、少しでも何かを変えようとしてみた。

洗濯屋  
例えば、なにもかも、全てをましろに洗おう。

染物屋  
例えば、なにもかも、全てを同じに染めよう。

選択屋  
例えば、なにもかも、全てを自由に選ぼう。

女三人  
聞こえてくるのは、風と、誰かと、何かの流れる音だけ。

風よりも疾く走れば、吹きぬけた風に追いつくこともできるだろう。

あの時叫んだ、私の言葉。

吹きぬけた風の中、いまだ空を舞ってはいないかと、

追っかけて追いついた風の中。振り向いて、見上げた空。青空。そして白い

雲。

染物屋#

選択屋#

洗濯屋#

雲。  
シャツ・・・白いシャツ。追っかけて追いついた風の中。振り向いて、見上げた空・・・青い空、白いシャツ。なんて憂鬱な午後だろう。

3人、空の雲を見上げるように白いシャツのはためきを見つめる。

と、洗濯物を手に、次々に男たちがやって来る。

男たち、預けた洗濯物の引換証を手に店を後にする。

しかしなぜか、誰一人として洗濯物を引き取りに来たものはいない。

私たちの姿が見えなくなる程、洗濯物がカウンターの上にうずたかく積

み上げられていく。

と、ボタンと大きな音を立てて扉が開く。  
静寂があたりをつつむ。

洗い者  
こんばんは。

返事はない。

洗い者  
あの、すみません。

洗い者、カウンターの前に立って・・・

洗い者  
あの・・・誰か、

山積みの洗濯物の下から、洗濯屋と染物屋が現われる。  
仰天する洗い者。

洗い者  
わー！！ 何、何、何なの！！  
すみません。お別れをしたので。

お別れ？

洗濯屋  
（カウンターから容器を出して）牛井と、  
（カウンターから容器を出して）親子井に。

洗濯屋  
そして応援していました。（カウンターから容器を出して）豚カルビ弁当と  
（カウンターから容器を出して）ロースカツ弁当を。

本当はキレイ好きなのに。

本当は体脂肪率だって低いのに。

どうしてデブのことを「ブタ野郎」だなんて。

本当は頭だって悪くないのに。

本当は足だって速いのに。

どうしてグズのこと「ブタ野郎」だなんて。

ヨークシャー。

バークシャー。

薩摩の黒豚。

東京。

がんばれポーク。お前だけは頑張りぬけ。

なぜなら私ら魚が嫌い。

なぜなら私ら大豆も嫌い。

貴重な私のタンパク源。

貴重な私のタンパク源。

洗濯屋#

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋 そうでなければ、ウマヒツジ。

洗濯屋 場合によつては、犬や猿。

染物屋 山沿いでは熊や鹿。

洗濯屋 町から猫が消えるでしょう。

洗濯屋# ラブ・ジ・アース。

染物屋# ラブ・ジ・アース。

洗濯屋 というわけで、お客さん、ご注文は？

洗いの者

染物屋

洗いの者

ご注文は？

え、ご注文つて、ええと、あまりの展開に、何しにきたのか忘れちゃったよ。

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

洗いの者

洗濯屋

染物屋

洗いの者

洗濯屋

染物屋

洗濯屋

染物屋

洗いの者

洗濯屋

洗いの者

染物屋

洗いの者

ガラガラピシャン。

そっちもか。つて、それ以前に俺、何しに来たんだっけ。うわあ、ホントに

思い出せないよ。最近かなりアルツ入ってるからな。あの時、牛肉食べ過ぎた

かな。それともヘッドバンキングやりすぎたかな。そうだ、こういう時は

洗いの者、入口に戻って入りなおしてみる。

洗いの者

こんばんは。・・・あの、すみません。

間。

洗いの者

あの、すみません。(思い出した)洗濯物、取りにきました。これだ。そう  
だよ、洗濯物だよ。『ご注文は？』とかいわれたからわかんなくなっちゃった

んだよ。

洗い者、再びカウンターへ。

と、洗濯屋・染物屋の姿はそこに無く、選択屋が立っている。

洗い者　　というわけなんで、お願いします。

選択屋　　何を？

洗い者　　洗濯物です。

選択屋　　で、何を？

洗い者　　だから洗濯物を。

選択屋　　選んで欲しいんですよ？

洗い者　　渡して欲しいんですよ。

選択屋　　え？

洗い者　　洗濯屋さんでしょ。

選択屋　　いかにも選択屋です。

洗い者　　だから預けた洗濯物、返してくれていってるとるんですよ。

選択屋　　だって、あなたからなんにも貰ってないもの。お題。問題が無いのに答えら

れるわけ無いでしょ。

洗い者　　なんですか、お題って。預けたでしょ、シャツ。

選択屋　　シャツ？

洗い者　　シャツですよ。赤い、Tシャツを。

選択屋　　ああ、洗濯屋に用事なのね。

洗い者　　だからさっきから言ってるでしょう。

選択屋　　洗濯物のことは洗濯屋に言ってる。

洗い者　　だから言ってるんじゃないですか、あなたに。

選択屋　　私は選択屋であって、洗濯屋じゃないの。

洗い者　　馬鹿にしてるんですか。それともトンチか謎々ですか。

だからウチは「どれにしようかな」って選ぶほうの選択屋。あなたが用事があるのは「洗ってすすいで干して」の洗濯屋。そういうのはウチの仕事じゃないんで。

洗い者　　ああ、選択屋。

選択屋　　そう、選択屋。洗う方の洗濯屋は留守です。

洗い者　　さっきまで居たでしょ。

選択屋　　居留守です。

洗い者　　ってことは居るんですよ？

選択屋　　居留守という名の留守です。

洗い者　　だから居るんだろ？

選択屋　　居るかどうか言えは居るけれど、留守かどうかでいえば留守です。

洗い者　　だから居るんなら出せよ、さっきのコンビを。

選択屋　　閉店です。ガラガラピシャン。

洗者

お前もか。なんだこの店。やる気あんのか。まだ昼過ぎだぞ。あのやる気のない川端通り商店街だって、まだなんとか店開ける時間だぞ。おい、開ける、開けるってば！ 返せよ、洗濯物。(架空のシャッターを叩いて) おい、おい、おいてば、開けるー！！

選択屋

(架空の新聞受けから覗く) ギー。

洗者

あ、開いた。

選択屋

合い言葉は。山

洗者

え？ 何、合い言葉？

選択屋

山

洗者

川？

選択屋

静

洗者

夫？

選択屋

パスワードが一致しません。(目潰し) プスツ。

洗者

ギヤー！！

選択屋

(閉じた) バタン。

洗者

くそ、なんなんだ！！

選択屋

(新聞受けから覗く) ギー。

洗者

あ、開いた。

選択屋

もつと詩的な合い言葉をどうぞ。山

洗者

なんだよ、詩的って。

選択屋

とにかく詩的な合い言葉をどうぞ。山

洗者

山、山、・・・ええと、山、田

選択屋

太

洗者

助。

洗濯屋

誰だよ。

洗者

誰だろ。

選択屋

(閉じた) バタン。

洗者

うわ、くそ。なんだよ、こんなの聞いてねえよ。

選択屋

(新聞受けから覗く) ギー。

洗者

ねえ、ちよっと。

選択屋

(言葉を遮って) ラストチャンス！ しかもヒント付き。さあ、渾身の力を込

洗者

めて、詩的な合い言葉をどうぞ。山の！！

選択屋

ヒントって、一文字だけかよ。

洗者

ガタガタ言わない、はい、山の！！

選択屋

山野、山野、駄目だ、銀座山野楽器ぐらしか思いつかない。

選択屋

参考までに「の」はひらがなです。

洗者

あ、ああ、ひらがな。山のゝなんとかかんとかって続くわけね。

洗者、少し考えて何事か思いつく。

洗い者 山の、山の、山の・・・あ、ああ、わかった。あれだ、山のあなたの空遠く  
選択屋 幸いすむと  
洗い者 人の言う。  
選択屋 (開けた) ガラガラガラ。  
洗い者 よし、キター！  
選択屋 (閉めた) ガラガラガラ  
洗い者 (首だけ挟まれた) ぐえっ。なんだ、畜生。ふんぬ。がーっ。

洗い者、架空のシャッターを押し上げて脱出。  
カウンターに躍りかかるが、そこには洗濯屋の姿。  
しかし先ほどの姿とはかなり印象が違う。

洗い者 なんなんだ、この店。  
洗濯屋 いらっしやいませ。  
洗い者 え？  
洗濯屋 あの、何か？  
洗い者 いや、あの、居留守、じゃない、お留守じゃなかったんですか？  
洗濯屋 ああ、すみません。ちよつと買い物に出てたもので。  
洗い者 ああ、買い物に。  
洗濯屋 ごめんなさい、お待たせしました？  
洗い者 待ったっていうか、手間取ったっていうか。  
洗濯屋 お好きなんですか？  
洗い者 え、何がですか？  
洗濯屋 詩。いま、口ずさんでいた。  
洗い者 ああ、山のあなたの空遠く、幸いすむと人の言う。  
洗濯屋 カール・ブッセですよ。お好きなんですか？  
洗い者 (知らない) ええ、まあ、いいですよ、カールブッセ。  
洗濯屋 新ロマン派でしたっけ。  
洗い者 (知らない) ええ、そうそう、新ロマン派、新ロマン派。  
洗濯屋 私も時々読んでるんですよ。月並みですけど、リルケとか。  
洗い者 (知らない) ええ、そうそう、リルケ、リルケ。  
洗濯屋 ところで、さっきの詩、続き、続き、どんなでしたっけ？  
洗い者 ええ、そうそう、続き、続き。えっ。  
洗濯屋 山のあなたの空遠く、幸いすむと人の言う。  
洗い者 えーと、えーとなんだっけ。ああ、なんとかとなんとかで。だっけ。ああ、  
えー、ああ！ 大変だ、時間が無い。すみません、あの、洗濯物を。  
洗濯屋 ああ、すみません。  
洗い者 お願いします。  
洗濯屋 お預かりですか、それともお引き取り？  
洗い者 引き取りにきました。



洗濯屋 はい、お預かりですネ。  
洗い者 いや、引き取りに。  
洗濯屋 じゃあ、お洗濯物、この袋に入れてくださいネ。  
洗い者 いや、だから引き取りに。  
洗濯屋 (伝票を取り出して) それから、ここにお名前お願いします。  
洗い者 人の話をきけー!!! 引き取りにきました。  
洗濯屋 え?  
洗い者 えつ、て、駄目なんですか、引き取り。  
洗濯屋 いえ、そんなことは。  
洗い者 だったら。  
洗濯屋 本当にお引取りですか。  
洗い者 ええ。  
洗濯屋 何年ぶりだろ。  
洗い者 何がですか。  
洗濯屋 あ、いえ、なんでも。あの、じゃあ、引換証を。  
洗い者 引換証?  
洗濯屋 お持ちですよネ、引換証。  
洗い者 ああ、あの赤い紙ね。  
洗濯屋 ええ、赤い、ペラペラした。  
洗い者 ええと・・・あれ?

洗い者、ポケットを探る。  
が、どうやら引換証が見つからないようで、かなり慌てた様子である。

洗い者 あの、ちよっと今、手元に見あたらないんですけど、どうにかして調べられませんか?  
洗濯屋 いつ頃お預けになりました?  
洗い者 ええと、いつなんだろ。ちよっとわかりません。  
洗濯屋 そうですか。お品物は。  
洗い者 シャツです、赤いTシャツで。  
洗濯屋 赤いTシャツですか。どんな感じのシャツですか?  
洗い者 どんなつて、赤くて、Tシャツで。  
洗濯屋 赤は、どんな感じの赤ですか?  
洗い者 いや、よくわかんないんですけど。これぞ赤って感じの赤かなあ。  
洗濯屋 バラの花みたいなの?  
洗い者 あ、これ。国旗の色みたいな感じですよ。多分。  
洗濯屋 じゃあ、ガラとかプリントとかは。  
洗い者 すみません、よくわかりません。  
洗濯屋 サイズはどれぐらいですか?  
洗い者 それもちよっと。

洗濯物

困りましたね。

洗い者

すみません、頼まれものなんで。

洗濯屋

どなたかの代わりに？

洗い者

ええ、そうなんです。代理で。

洗濯屋

申し訳ないんですが、それじゃあ、やっぱり引換証がないと。

洗い者

駄目ですか。

洗濯屋

すみません。

洗い者

困ったな。

洗濯屋

ウチの方の控えを調べれば出来なくはないですけど、ちょっと時間かかりますよ。

洗い者

そうですか。

洗濯屋

お急ぎなんでしょ？

洗い者

ええ、まあ、そこそこです。

洗濯屋

あ、そうだ、お名前は？

洗い者

私ですか？

洗濯屋

いえ、預けた方の。

洗い者

ああ、ええと、名前は、ええと、(忘れた) えー、すみません、出直してきます。

洗濯屋

あの、すみませんけど、なんか、それっぽいのがないかどうか、探してください。

洗い者

はい。

洗濯屋

じゃ、どうも。

洗濯屋

ありがとうございます！

洗い者、去る。

が、すぐに戻ってきて・・・

洗い者

あの、それからですね。

と、カウンターには洗濯屋の姿は既に無く、染物屋が立っている。

染物屋

何。

洗い者

あれ？

染物屋

何でしょう。

洗い者

さっきまでいた、あの、

染物屋

洗濯屋？

洗い者

ええ。

染物屋

裏。

洗い者

裏？

染物屋

裏。なんか、探しに行った。

洗い者

あ、そうですか。

染物屋  
呼ぶ？

洗い者 あ、いや、呼んでもらうほどのことじゃないんで。あ、じゃあ、伝えといてくれま  
すか。

染物屋  
断る。

洗い者  
なんだよ。

染物屋  
私の伝言はね、すごいよ。

洗い者  
すごいって。

染物屋  
変わるよ。ものすごく。どう伝わるかわかんないよ。

洗い者  
いや、たいしたことじゃないんで。

染物屋  
一のものをして十にして伝えるよ。たいしたこと無い伝言でもね、感動するよ。  
いらなないよ。普通に伝えてくれれば。

染物屋  
普通に伝えなきゃならんなら、断る。

洗い者  
普通でいいんだってば。

染物屋  
じゃあ、伝えない。

洗い者  
じゃあ、呼んでくれ。

染物屋  
呼ばない。

洗い者  
どういう態度だ、俺は客だぞ！

染物屋  
客じゃない。

洗い者  
なんだ、その言い切り方。

染物屋  
事実、客じゃない。

洗い者  
客だよ、事実。

染物屋  
あんたは洗濯屋の客であって、うちの客じゃない。

洗い者  
うちって、あんた洗濯屋じゃないのか？

染物屋  
アイムノット洗濯屋。

洗い者  
あ、じゃあ、あれか、選ぶほうの選択屋か。

染物屋  
ノット選択屋

洗い者  
じゃあなんなんだよ！

染物屋  
バット染物屋。

洗い者  
染物屋？

染物屋  
ウイ。和風に言えば紺屋。

洗い者  
和風でもなんでもいいから、呼ぶか伝えるかしてくれよ。

染物屋  
呼ばないし伝えない。

洗い者  
じゃあ、奥に入らせてくれ、自分で言いに行く。

染物屋  
関係者以外、立ち入り禁止。

洗い者  
・・・わかったよ。

染物屋  
帰る？

洗い者  
そうしようかと思ったけれど、これだけ時間をかけといて、何もせずに出る  
のはもったいない。

染物屋  
貧乏性だね。

洗い者  
というわけで、伝言しといてくれ。

染物屋

膨らませるよ。

洗い者

どのぐらい。

染物屋

当社比10倍。

洗い者

許容する。

染物屋

よし、話せ。

洗い者

さっきの洗濯物ですけど、赤いTシャツね、もし見つかったら、連絡ください、すぐに。その宿に泊ってますので。

染物屋

(なんとなく詩的に変換してください) 10年ほど前の、巨大な洗濯物の成れの果て、唐紅の十二単、よしんば発掘されたなら、ありとあらゆる方法で。電話電報伝書鳩メールに狼煙にモールス信号、飛脚隠密式神とばすで。・・・連絡ください、風よりも、音よりも、光よりも速く。時速十億八千万キロメートルの、最速のコミュニケーションで。伝えてください。そこそこの木賃宿に勝手に住み着いていますので。

洗い者

(謎の擬音) ばびゅーん。原型とどめてないだろうが!!

染物屋

伝えとく。

洗い者

伝えんていい。

染物屋

名作?

洗い者

贋作だ。

染物屋

天才?

洗い者

ある意味。

染物屋

わーい。

洗い者

だからある意味だ。もういい、(ペンで紙に伝言を書いて)これ、渡しといてくれ。頼んだからな。

洗い者、急ぎ足で店を出て行く。

染物屋

「洗濯物、出てきたらホテルまで連絡ください」・・・詩的じゃないなあ。

染物屋、何か書き換えようとする

洗い者、戻ってくる。

洗い者

いらんことするなよ。

染物屋、「なんにもしてません」のアピール。

洗い者、再び急ぎ足で店を出て行く。

染物屋、伝言メモで飛行機を折る。

飛ばそうとした瞬間、また扉が開き、洗い者が顔を出す。

洗い者

するなよ。

染物屋、再度「なにもしてません」のアピール。  
洗いや、再び急ぎ足で店を出て行く。  
と、入れ替わりに初老の男が姿をあらわす。

忘れ者 邪魔するよ。  
洗濯屋 いらつしやいませ。

カウンターにはいつの間にか洗濯屋の姿。

忘れ物 ちよつとお伺いしたいのだが。  
洗濯屋 はい。

忘れ者 今日、お客さんは？

洗濯屋 朝からお一人だけ。

忘れ者 それは、どういった？

洗濯屋 どういったって、普通の。あ、でも。

忘れ者 何か？

洗濯屋 引き取りにいらつしやったんですよ、洗濯物。

忘れ者 それが何か？

洗濯屋 何年ぶりかです、お客さんが洗濯物受け取りにきたのなんて。

忘れ者 取りに來ないんですか。誰も。

洗濯屋 ええ、ほとんど。おかげで、お店、こんなになっちゃって。

辺りには所狭しと仕上がった洗濯物がぶら下げられている。

忘れ者 なるほど。

洗濯屋 あの、失礼ですけど。

忘れ者 ああ、申し訳ない、ご商売の邪魔ですな。

洗濯屋 いえ、そうじゃなくて。もしかして、探偵さんとか、そういった方ですか。

忘れ者 いいえ。ただの人捜しで。

洗濯屋 (ややがっかり気味) そうですか。

忘れ者 そういった職業の者でもないのに、思わせぶりにすみません。ところで、こんな男を見ませんでしたか。

洗濯屋 こんなつて、どんな？

忘れ者 ああ、失敬。この、写真の、写真の、(写真が見つからない) えー、例えるなら、青天の霹靂のような。

洗濯屋 青天の霹靂。

忘れ者 霹靂、わかりますか。雷鳴のことです。青いお空にゴロゴロドカーン、そんな唐突な感じの男です。

洗濯屋 いえ、見てないと思います。

忘れ者  
洗濯屋

それでは、冬の稲妻のような男を見ませんでしたか。ライカローリンサンダー、a h、そんな感じの男です。  
いえ……。

忘れ者  
洗濯屋

それでは、冬のリヴィエラのような男を見ませんでしたか。港を出てゆく船のような男です。哀しければ哀しいほど黙りこむような男です。

忘れ者  
洗濯屋

あの、それは全部同じ人なんですか。  
ええ、はい。

忘れ者  
洗濯屋

ちよつとイメージがつかめないんですけど。  
申し訳ない。昔から人の特徴を言葉にするのが苦手な方です。たとえば、

洗濯屋

これ、誰のことだかわかりますか。(なんでもいいです)「青、白、ヒゲ」  
……いえ。

忘れ者  
洗濯屋

ドラえもんです。  
ああ。

忘れ者  
洗濯屋

つづいて「黄、白、リボン」  
ドラミちゃん？

忘れ者  
洗濯屋

女装したドラえもん(量産型)です。  
わからない。

洗濯物  
洗濯屋

だから、苦手だと。  
あ、でもそんな感じ具体的に言っていたら、稲妻とかリヴィエラとかよりはイメージしやすいかも。

忘れ者

具体的？

洗濯屋

服がどうだとか、外見がどうだ、とか。たとえば、服は？  
着ている。

洗濯屋

髪は？  
ある。

忘れ者  
洗濯屋

目は、  
2つ。

忘れ者  
洗濯屋

背は。  
ジャイアンツ。

洗濯屋

パは。  
ファイターズ。

洗濯屋

三時のおやつは。  
文明、どうでしょう。

忘れ者  
洗濯屋

余計混乱してきました。  
まあ、全て私の想像ですが。

洗濯屋

想像？

忘れ者  
洗濯屋

実は、私も写真でしか見たことが無いもので。  
そうなんですか。出てきませんか、写真。

忘れ者  
洗濯屋

ええ、どこに入れたか落としたか。  
あの。長いんですか、人捜し。

忘れ者 ええ、まあ。国内外を問わず、かれこれ3年、柿8年。最後の余計な一言はどうか忘れてください。

洗濯屋 3年ですか。

忘れ者 だからといって、ノーリアクションも寂しすぎる。

洗濯屋 ……

忘れ者 ヘーイ、ルックアットミー！

洗濯屋 あの。

忘れ者 オーケー、なんでしょう。

洗濯屋 人捜しで、隣の国には？

忘れ者 もちろん。

洗濯屋 最近は？

忘れ者 ここ1年だけでも5、6回は。

洗濯屋 そうですか。

忘れ者 それが、何か？

洗濯屋 ……あの。こんな男を見かけませんでしたか？

忘れ者 え？

洗濯屋、一枚の写真を取り出し、忘れ者に見せる。

と、テーブルの陰から同じく写真を手に染物屋が現れる。

染物屋 こんな男を見かけませんでしたか？

忘れ者 え？

選択屋まで写真を手に現れる。

選択屋 こんな男を見かけませんでしたか？

忘れ者 お？

三人 見たことありませんか、こんな人。

洗濯屋 もうかれこれ3年になります。洗濯物、預けたきりで。

染物屋 頼まれた染物もとづくに仕上がってるんです。

選択屋 私は何も頼まれてないんですけど、まあ一応。

忘れ者 あの、この写真、全部同じ人ですか。私には全然違う顔に見えるのですが。

洗濯屋 これです、この後ろではにかんでる、この男です。

忘れ者 はにかんでいるって、表情がわかるような大きさじゃないでしょう、これ。

ピントも合っていないし、だいたい、この手前の、この男のインパクトが強すぎる。

洗濯屋 すみません、シャイな性格なので。

染物屋、忘れ者の首をつかんで、強引に自分の写真の方に向けさせ……

染物屋  
忘れ者  
これです。この手前に写ってるぼんやりとした。  
なんですか、これは。というか、なんか窓に変なものが映っているように見えるんですが。

染物屋  
忘れ者  
それはただの心靈写真ですから気にしないで。  
気になりますよ、というか、夢に見そうです。  
そっちじゃなくて、この手前のぼんやりとした。  
なんですか、このエクトプラズムのようなのは。  
指です。写真をとったときに、レンズに指が。

忘れ者

中指です。そんな感じの中指の男です。見たことありませんか。

染物屋  
忘れ者  
見たことありませんかといわれても、私もいちいち人の中指を気にして生きてるわけではないですからなあ。

忘れ者

これです、こんな感じの男です。  
これって言われても、この写真、人が沢山写りすぎて、いったいどの人だか。なんですか、これは。

選択屋

忘れ者

中学校のクラス写真です。

忘れ者

ああ。一番上の段、右から3番目。

選択屋  
忘れ者  
なんですか、この健康優良児は。  
肉屋の息子です。そっちじゃなくて、向かって右から。

忘れ者

ああ、こっちから。一番上の、1、2、3。．．．ええと、なんか目伏せが入ってるんですが。

選択屋

忘れ者

だから、目伏せを。

忘れ者

集合写真で？

本人がどうしても、と。

忘れ者

変わった人ですな。名前は

少年Aです。

尋ね人なのに、匿名ですか。

何かと怖い時代ですから。

だからってそれじゃあ、みつかるともみつかからない。

選択屋

忘れ者

そうでしょうか。

じゃあ、あなただけにこっそり教えます。

選択屋、忘れ者に耳打ち。

忘れ者  
なるほど。それで、この人は、あなたとはいったいどういう関係で？



染物屋と選択屋、姿を消す。

洗濯屋  
弟です。

忘れ者  
弟さん、ですか。

洗濯屋  
3年前、隣の国へいってくとだけ言い残し、洗濯物も預けたまま、それつきり連絡も無しで。

忘れ者  
そうですね。それはさぞご心配でしょう。私の人捜しのついででよければ、注意してみてくださいませしよう。お名前が、籌三郎（ちゆうざぶろう）さん、ですか。  
な。

洗濯屋  
はい。．．．あの、ところで、あなたが探しているのは？

忘れ者  
私の探しているのは、．．．私です。

洗濯屋  
？

忘れ者  
いや、もちろん私が私を探すなんてことはありません。私の片割れ、私の相棒、私のカケラ、まあ、そんなようなものです。

雷鳴。

突然のわか雨。

叩きつけるような雨音が室内にも響く。

忘れ者  
おっと、これは。

忘れ者、急いで荷物をまとめ、立ち去ろうとする。

洗濯屋  
あの、よかったら、これ。

洗濯屋、傘を差し出す。

忘れ者  
助かります。

洗濯屋  
いいえ。

忘れ者  
では、今日のところはこれで。また、寄らせて貰います。この傘もお返ししなければなりませんし。

洗濯屋  
よろしければ、お持ちになっても。

忘れ者  
そういうわけにもいかんでしょう。．．．では、青天の霹靂のような、冬の稲妻のような、もしくはリヴィエラのような、そんな男、もし見かけたら、連絡ください。しばらくはその宿に泊まっていますので。

洗濯屋  
はい。

忘れ者  
では、失礼。

忘れ者、傘を手に去る。

と、再び大きく雷鳴。

扉が開くと、その向こうにボロボロのコートに、よれよれの背広の男の姿。ずぶぬれの男（流れ者）が一人入ってくる。雨。風。そして、激しく水の流れる音。音楽。

(シーン1終了)

流れ者、放吟しながらゆつくりと店内に入ってくる。  
カウンターには店番中の染物屋一人。

流れ者

流れ流れて、幾年月。別れ別れて、幾星霜。喜びの詩、悲しみの詩、恋の詩、別れの詩、色とりどりの色つけて、詠った詩も、幾年月、流れ流れて色あせて、まるで空ゆくたんぼぼの、ひどく真白な綿毛のようです。通りすがったこの町で、不意にうたれる通り雨、仮の宿りの雨宿り、通りすがりの詩人です。詩、要りませんか。

染物屋

(無視)・・・。

流れ者

(語順を変えてみた) 要りませんか、詩。

染物屋

(無視)・・・。

流れ者

(語順を戻してみた) 詩、要りませんか。

染物屋

(無視)・・・。

流れ者

要りませんか、詩。

染物屋

(無視)・・・。

流れ者

・・・あの、倒置法はお嫌いですか!?

染物屋

倒置法は好き。

流れ者

そうですか。じゃあ、要りませんか、詩。いかがですか、詩。どげんですか、詩。

詩。

染物屋

(遮って) 倒置法は好きだけど、詩は間に合ってます。

流れ者

安くしときますよ。

染物屋

安い詩なんて要らない。

流れ者

じゃあ、高いやつを。

染物屋

ますますいらぬ。

流れ者

じゃあ、ほどよくします。

染物屋

五月蠅い。

流れ者

と言われて、黙ってしまったら、私の商売あがったり。いわゆるひとつの詩人に口なし、仕事無し、ついでに宿無し、いと哀し。これだけ話してるのに、

あなたは買う気まるで無し。

染物屋

帰れ。

流れ者

いいんですか?

染物屋

いい。

流れ者

竹を割ったような素晴らしい一言。感服しました。

染物屋

わかったら帰れ。

流れ者

そうは言ってもこの雨です。せめて止むまで居させてください。

染物屋

断る。

流れ者

そんな。

染物屋

情けは人のためならず。

流れ者 それ、意味が違ってます。  
染物屋 知ってて言ってる。  
流れ者 情け容赦ないな。  
染物屋 容赦しない。帰れ。  
流れ者 ああ、じゃあ、外で。軒先でいいですから。  
染物屋 軒先貸して母屋を取られる。  
流れ者 怪しい者じゃないですってば。  
染物屋 と自分からいうやつはだいたい完膚無きまでに怪しい。指が三本だったり、  
耳がとがってたり。  
流れ者 わかりました。  
染物屋 じゃあ、そういうことで。  
流れ者 客になりましょう。  
染物屋 (豹変) いらっしやいませー。

流れ者、荷物の中から、汚いシャツを一枚取り出して・・・

流れ者 じゃあ、これ、お願いします。  
染物屋 あいよ。で、どうします。  
流れ者 どうって、普通に。  
染物屋 普通に。  
流れ者 白くしてもらえれば。  
染物屋 白くはできないね。  
流れ者 え？  
染物屋 結構汚れが目立つし、すこし暗めの感じに仕上げないと。  
流れ者 ああ、じゃあ、暗めの感じに白く。  
染物屋 だから白くできないって言ってるんでしょが。  
流れ者 だから普通に洗ってくればそれでいいんですよ。  
染物屋 (カチンときた) 帰れ。  
流れ者 なにか気に障りましたか？  
染物屋 (流れ者のシャツを手に) 見る。  
流れ者 はい。

染物屋、シャツを地面に叩きつける。

流れ者 わー！  
染物屋 馬鹿っ！！

染物屋、半べそをかきながら去る。  
呆然と取り残される流れ者。

流れ者

おい、なんだよ。

選択屋、入れ替わりに入ってくる。

選択屋

泣ーかした、泣ーかした。

流れ者

泣きたいのはこっちだよ。

選択屋

(洗濯物を拾い上げて)ありやいや、汚れてるねえ。

流れ者

汚されたんです。そりやまあ、もともと汚れてはいたけどさ。

選択屋

それはそれは。

流れ者

普通、謝りませんか、こういう場合。

選択屋

謝りません、いかなる場合も。

流れ者

感じ悪い店だな。

選択屋

感じ悪い客だな。

流れ者

どうしてくれるの。

選択屋

どうしてほしいの。

流れ者

どうしてほしいのって。

選択屋

1、元に戻して欲しい。2、金が欲しい。3、金がないなら体で払ってもら

流れ者

おうかグヒヒヒヒ。警察呼ぶよ。

まだ選んでない。第一、そんなつもり全然無い。普通に洗ってくればいいんですよ。

選択屋

洗う？

流れ者

そうですね。さつきもそう言ったんですけど、なんか急に怒り出して。

選択屋

そりや怒るだろうね。

流れ者

どこの世界に「洗ってくれ」って言われて怒る洗濯屋がいるんですか。

選択屋

洗ってくれて言われて、怒る洗濯屋はいないね。

流れ者

そうですね。

選択屋

洗濯屋だったらね。

流れ者

洗濯屋でしょ、ここ。

選択屋

まあ、3分の1くらいは洗濯屋だね。

流れ者

3分の1？

選択屋

営業規模でいうと、100分の99ぐらい洗濯屋だけだね。

流れ者

なんですか、その残りの部分は。

選択屋

残りは染物屋と選択屋と質屋と便利屋と・・・

流れ者

もういいです。

選択屋

まあ、要するに何でも屋。

流れ者

返してください、それ。

選択屋

いいの？

流れ者

別にいいんです。どうしても洗わなきゃいけないわけでもないし。

選択屋

じゃあ、はい。

流れ者

(受け取って)あの、ここ、居てもいいですか。雨、止むまでいいいで。

選択屋  
流れる  
じゃあ、買ってください。はい、退場。

選択屋  
流れる  
何を。

選択屋  
流れる  
詩は、要りませんか。

選択屋  
流れる  
物騒なもの売ってるね。

選択屋  
流れる  
死じゃなくて、詩。デスじゃなくてポエムです。

選択屋  
流れる  
押し売り？

選択屋  
流れる  
いいえ、量り売りです。

選択屋  
流れる  
単位は。

選択屋  
流れる  
1行いくらで。

選択屋  
流れる  
いくらから。

選択屋  
流れる  
100デイナールからお願いします。

選択屋  
流れる  
ふーん。いらぬ。

選択屋  
流れる  
買ってくれるまでここを動きません。

選択屋  
流れる  
押し売りじゃない。

選択屋  
流れる  
いいえ、量り売りです。1行100デイナールから。10行越えたら、少し

お安くします。

選択屋  
流れる  
じゃあ100デイナールのを1行。

選択屋  
流れる  
ありがとうございます。それでは、どんな詩にしましょうか。

選択屋  
流れる  
どんなって？

選択屋  
流れる  
喜びの詩、悲しみの詩、恋の詩、別れの詩、お客様のお望みのままに。

選択屋  
流れる  
どんなのでもできるの？

選択屋  
流れる  
仰せのままに。

選択屋  
流れる  
じゃあ、なんか、儲かりそうな詩。

選択屋  
流れる  
儲かりそうな・・・ですか。

選択屋  
流れる  
そ、もうお客さんが津波のように押し寄せてきそうな

選択屋  
流れる  
詩ですよ？

選択屋  
流れる  
できない？

選択屋  
流れる  
できなくもないと思いますけど。

選択屋  
流れる  
じゃ、お願い。

選択屋  
流れる  
えー、それでは失礼して。いきます。

「本日より、全品9割引の大特価で出血大サービス、はい、いらっしゃい、いらっしゃい」

・・・いかがでしょうか。

いかがでしょうか、何が。

私の詩。1行40文字で詠んでみました。

え、何、今ので終わりなの？

はい。

スーパールの呼び込みと変わらないじゃない。

はい。1行100デイナールですから。

選択屋 はい、退場。  
流れ者 あの、お代を。  
選択屋 支払い拒否。  
流れ者 そんな。払ってくださいよ。  
選択屋 成功報酬。  
流れ者 え？  
選択屋 津波のようにお客がきたら、払う。  
流れ者 たった100ディナールぼっちで津波のようなお客って、ちよつと欲が深すぎませんか。  
選択屋 じゃあ、クーリングオフ。  
流れ者 ずるい。というか、せこい。  
選択屋 押し寄せてこないじゃないの、お客。  
流れ者 そりゃ、ここで今、あなたに向かつて喋っただけですもん。来るわけ無いでしょ。  
しよ。来たら逆に怖いですよ。盗聴されてますよ、この店。  
選択屋 じゃあ、外に向かつて、ハイ。  
流れ者 この雨の中、聞こえるわけが無いでしょ。  
選択屋 言い訳？  
流れ者 違います。  
選択屋 自信がないんだ。  
流れ者 ……見てろよ。(息を大きく吸って)

と、いいタイミングで洗いが入ってくる。

洗いや こんばんわ。  
流れ者 (大声) いらっしやいませー！！  
洗いや わー！ 今度は何だ！！  
流れ者 ほら見ろ。100ディナール！！  
選択屋 まだ喋ってなかったじゃない。  
流れ者 それはともかく、100ディナール。  
選択屋 まだ一人しか来てないじゃないの。  
流れ者 100ディナールで津波とか贅沢言うな！！ 成功報酬！！  
洗いや あの、洗う方の洗濯屋さんは。  
流れ者 さあ払え、やあ払え、100ディナール。  
洗いや 五月蠅い！！ なんだお前。  
流れ者 通りすがりの流しの詩人です100ディナール。  
選択屋 押し売りなのよ。  
流れ者 量り売りです100ディナール。  
洗いや けしからんヤツだな。  
流れ者 100ディナール、100ディナール、100ディナール！！ 払わないと俺は取り立ての鬼にナール！！

選択屋 ああ、もうわかったわよ、ホラ。

選択屋、100ダイナール硬貨を放り投げる。

流れ者 ありがとうございます。

コインの後を追う流れ者。

コインは転がって、何かの隙間に入り込んだ様子。

流れ者 あ、あれ。

流れ者、必死に手をねじ込んで100ダイナールを拾おうとする。

洗い者 なんですか、あれ。

選択屋 詩の押し売り。

洗い者 買ったんですか。

選択屋 買うまで出て行かないとかいうからさ。

洗い者 ああ、ね。まあ、いい商売だよね、元手かからないし。・・・あ、で、洗濯屋さんは。

選択屋 上。

洗い者 上？

選択屋 やぐらの上。取り込んでる、洗濯物。

洗い者 上って(梯子をさして)この上？

選択屋 裏から階段で上がれる。ここからもいけるけど。・・・呼ぶ？

洗い者 取り込み中でなければ。

選択屋 間違いない取り込み中。急いで取り込まないと、また洗い直しだし。

洗い者 ああ、なるほど。

選択屋 で、ご用件は？

洗い者 あの、どうでしたか？

選択屋 どうでしたかって、何が？

洗い者 聞いてませんか、何か。

選択屋 何かって、何を誰から。

洗い者 シヤツのことを、えーと、あの、染物屋から。

選択屋 (首を横に降る)

洗い者 でしょうね。

流れ者 (変な体勢のまま)あの一。

洗い者 赤いTシャツ、見つかったらホテルまで連絡くれるようになって、伝言頼んどいたんですよ。

選択屋 聞いてない。ていうか、その伝言、私宛じゃないでしょ。聞いてたらおかしいじゃない。



洗い者 いや、まあ、そうですね。一応、同じ建物の中で営業してるわけですよ。  
選択屋 餅は餅屋、洗濯は洗濯屋。

(変な体勢のまま) あー。

洗い者 お互いに交流あたりしないんですか。

選択屋 まあ、店番ぐらいはするけどね、交代で。

洗い者 だったら。

(変な体勢のまま) 誰かー。

選択屋 あ、あなたあれでしょ、木賃宿に勝手に住み着いてるんですよ。

洗い者 住み着いてない。というか、なんでそういうとこだけ伝わってたんだ。

流れ者 (変な体勢のまま) 誰かというか、その(おまかせ)メガネ。

洗い者 俺かよ。

流れ者 (変な体勢のまま) それから(おまかせ)大福。

選択屋 私か？

流れ者 (変な体勢のまま) 助けてください。

洗い者 何やってんだ。

流れ者 転がる100ディナールを追いかけて、追いかけて、この通り。まるでF1

・モナコグランプリのようです。

洗い者 は？

流れ者 はたまた、老女デブ専のアダルトビデオのようでもあります。

選択屋 え？

流れ者 そのところは、どうやっても抜けません。

二人 ああ。

洗い者 ガッテン

選択屋 ガッテン

洗い者 ガッテン

流れ者 助けてください。

洗い者、流れ者の手をつかんで引っ張る。

流れ者 痛てててて。

洗い者 抜けないな。じゃ、そういうことで。

洗い者、あっさり諦める。

流れ者 ちょっと、諦めが良すぎませんか？

洗い者 人間、諦めが肝心。

選択屋 潔いね。

流れ者 粘りましょうよ、もう少し。

洗い者 パチスロは、引き際が肝心。

選択屋 大人だね。

流れ者 関係ないだろ。  
選択屋 態度でかいわね。  
流れ者 すみません。

洗い者 セーの、よいしょー！！  
流れ者 痛てててててつっつ！！！！

洗い者 よいしょー！！  
流れ者 痛ーつっつ！！！！

洗い者 なんだこりや、完全にはまっちゃってるな。

選択屋 水も食べ物も与えずにほつといたら、そのうちやせ細ってきて抜けるんじゃない。

流れ者 抜ける前に死にます。

選択屋 じゃあ、押してみる。

洗い者 引いてダメなら

選択屋 押してみな。

流れ者 なるほど。

洗い者 じゃあ、いくぞ、せーの、ほいつ。

流れ者、更に深くはまる。

流れ者 あ。

洗い者 じゃあ、引くぞ、せーのっ！！

流れ者 痛ーつっつ！！！！

洗い者 びくともしないな。

流れ者 なんか、余計状況が酷くなったような気がするんですけど。

洗い者 はっはっは。

選択屋 わっははは。

洗い者 うーん。ダメだこりや。

選択屋 よし、切ろう。

流れ者 え？

選択屋 このへんから、すぱっと切っちゃえば。

洗い者 ああ、ね。

選択屋 (架空の刀を抜いて) シャキーン。では、参る。うりやー！！

間一髪、流れ者、腕を引き抜く。

流れ者 わー！！ 抜けた！！ でも100デイナー！！

流れ者、また腕を突っ込む。

流れ者 抜けなーい！！

選択屋  
流れ者  
(架空の刀で) シャキーン。うりやー!!  
抜けたー!! でも100ディナール!!

流れ者、また腕を突っ込む。

選択屋  
流れ者  
(架空の刀で) シャキーン。うりやー!!  
うわー、100ディナールっ!!

流れ者、腕は突っ込んだまま、もう一方の手で真剣白刃取り。

流れ者  
とったー! ぬぬぬぬぬ。

選択屋  
ぬぬぬぬぬぬ!

洗いや  
なにもそこまでしなくても。

流れ者  
100ディナールを笑うものは、100ディナールに泣く。

洗いや  
そりや正論だけどさ。その100ディナールを拾うのに、いまここまでに使

った労力、100ディナールじゃきかないだろ。損得でいうところの、損だよ。

もう諦めたら?

流れ者  
諦めきれません。

洗いや  
損切り、損切り。

流れ者  
損切りしません。何が何でも100ディナール、ぬぬぬぬぬ。

選択屋  
ぬぬぬぬぬ。

流れ者  
手に入れます!!

流れ者、気合一閃。

流れ者  
抜けたー!! . . . あれ?

流れ者の手には、赤い引換証。

流れ者  
なんででしょうか、これ。

洗いや  
お前、これは。

選択屋  
. . . 引換証。

流れ者  
引換証?

選択屋  
ちよつと、呼んでくる。洗濯屋。

選択屋、洗濯屋を呼びにカウンターの奥へ。

と、入れ替わりに洗濯屋が奥から出てくる。

洗濯屋  
お引き取り、ですか?

流れ者  
お引き取りくださいと言われても、何が何でも引き取りません。雨が止むま

でここにいます。

洗い者  
あの。

洗濯屋  
ああ、いらつしやいませ。

洗い者  
見つけられましたか、赤いシャツ。

洗濯屋  
それが。ないんです。

洗い者  
無い？

洗濯屋  
見当たらないんですよ。赤いシャツ。

洗い者  
見当たらないって、そんな馬鹿な。

洗濯屋  
引き取りの期限が過ぎても、一応全部保管してますから、処分したってことは無いと思うんですけど。

洗い者  
シャツじゃなくても、何か赤っぽい服で、似たようなヤツ、ありませんでしたか？

洗濯屋  
そこまではちよつと。ざつと調べただけですから。

洗い者  
全部調べたら、どれくらいかかりそうですか。

洗濯屋  
そうですね、4〜5日、いえ、1週間ぐらいは。

洗い者  
それじゃ間にあわないんだよ！！

洗い者、焦りのあまり、つい大声を出す。

流れ者  
まあまあ。

洗濯屋  
ごめんなさい。でも、引換証が無いと、どうしても。

洗い者  
すみません、つい。どうしても、明日の朝までには必要なのです。

洗濯屋  
あの、急いでもう一度探してみますから。

洗い者  
いえ、あの、大声だしてすみませんでした。もしさしつかえなければ、自分で探しますから。

洗濯屋、急ぎカウンターの裏へ去る。

洗い者、後を追おうとして、出てきた染物屋に制止される。

染物屋  
関係者以外、立ち入り禁止。

洗い者  
いいだろ、ちよつとぐらい。

染物屋  
駄目。

洗い者  
急いでるんだよ。

染物屋  
急いでても、駄目。

洗い者  
頼むよ。

染物屋  
通行証は？

洗い者  
ないよ、そんなもん。

染物屋  
話にならないね。

洗い者  
無理矢理入ったら？

染物屋  
死刑。

洗いや者 物騒だな。

染物屋 当然。

洗いや者 本当に？

染物屋 死刑。まあ、でも。

洗いや者 でも、何。

染物屋 ウチの客なら考えなくもない。

洗いや者 染物屋。

染物屋 ウィ。どうよ。

洗いや者 どうよって、わかったよ。いくら欲しいんだ。

染物屋 それは染めの内容と大きき次第で。

洗いや者 安いのでいくら？

染物屋 化学染料でベタバタつと染めちやえば5000デイナー。

洗いや者 高いのは？

染物屋 伝統的に藍の葉っぱを発酵させて、藍玉（あいだま）でコツコツ染めれば

天井知らず。

洗いや者 わかった、じゃあ、これ。

洗いや者、札を染物屋に渡す。

洗いや者 10000デイナー、それでいいだろ。

染物屋 毎度っ！ で、何を。

洗いや者 別に何も染めなくていいから。

染物屋 え？

洗いや者 それ、やるから。通してくれ。

染物屋、無言で道を開ける。

洗いや者 どうも。

洗いや者、その横を通り抜けて奥へ入ろうとする。

と、染物屋、突然洗いや者に噛み付く。

洗いや者 ギャー！ 何すんだ！！

洗いや者、染物屋を振りほどく。

染物屋 ・・・帰れ。

洗いや者 なんだよ、10000じゃ不満か？

染物屋 見ろ。

染物屋、札を真っ二つに破く。

洗いや流れる  
あー！！  
わー！！

染物屋、更に破いた札を地面に叩きつける。

洗いや流れる  
わー！！  
うわー！！  
なにすんだ！  
（拾って）ありがとうございます！  
拾うな、返せ。  
では、10000ディナール分の詩を。  
（小声）馬鹿にすんな。  
え？  
馬鹿にすんな。馬鹿馬鹿馬鹿馬鹿馬鹿！！

染物屋、カウンターの裏へ去る。

洗いや流れる  
あ、おい！！

入れ替わりに、選択屋が入ってくる。

選択屋  
はーい、関係者以外、立ち入り禁止。  
ちょっと、なんだよ、あいつ。  
とかいいながら入ろうとしても駄目、駄目。  
用事があるんだよ、奥に。  
選択屋  
通行証は？  
いくら欲しいんだ！！  
は？  
いくら出せば通してくれるんだ。  
モノより思い出。  
え？  
お金で買えない価値がある。マスターカード。  
なんだよ。  
選択肢は3つ。1、諦めて帰る。2、無理矢理突破して死刑。3、マスターカードを持つてくる。  
持ってないよ、クレジットカード。というか、審査で落ちました。持てませ  
ん、クレジットカード。  
そのマスターカードじゃなくて、



流れ者 (小声で) 3000ディナールですが。  
洗い者 (小声で) いいから。  
流れ者 では。

流れ者、洗い者に耳打ち。

流れ者 山のあなたの空遠く 幸い住むと人の言う  
洗い者 うんうん。

流れ者 嗚呼、我(われ)人と尋(と)め行きて 涙さしぐみかえりきぬ  
洗い者 ほうほう。

流れ者 山のあなたになお遠く 幸い住むと人のいう

洗い者 ふんふん。

流れ者 以上です。

洗い者 ・・・・で、どういう意味なの？

流れ者 ええと、ある山にはあなたさんと、幸いさんという人が住んでいて、そこは  
とても空遠くにあつて、涙が流れるなあ、という意味かなあ。

洗い者 かなあつて何だよ。

流れ者 すみません。丸暗記してるだけなんで、意味まではちよつと。

洗い者 半端だな。

流れ者 そうおっしゃいまして。 (話をそらして) あと1000ディナール分あり  
ますけど、どうします？

と、洗濯屋、赤いシャツを手に戻ってくる。

入れ替わりに、選択屋、姿を消す。

洗濯屋 あの・・・。

洗い者 それだ。それです！

洗濯屋 でも。

洗い者 赤い、ロシャツ、他にないならきつとそれで間違いないです。

洗濯屋 でも、これは。

洗い者 なんですか。

洗濯屋 弟の、弟のシャツですから。

洗い者 え？

洗濯屋 三年前に、いなくなった、私の弟のシャツですから。

洗い者 (流れ者に) おい。

流れ者 なんですよう。

洗い者 さっきの、あれ。

流れ者 ああ、引換証。

洗い者 ちよつと貸せ。





洗濯屋、染物屋と交代で奥へ。  
染物屋、洗いや流れ者に冷たい態度。

染物屋 (流れ者に) まだ居たの。

流れ者 じゃあ、私はこれで。前線も移動したようだし。

染物屋 は？

流れ者 あ、いや、雨が上がったようだし。

染物屋 帰れ。

流れ者 どうも、お邪魔しました。では、お別れに、私の詩を。

染物屋 五月蠅い、早く帰れ！！

流れ者 娘さん、よくきーけよ、流れ者にや惚れるなよ！

染物屋、その辺の物を投げつける。

流れ者、納得のいかない表情のまま流れていく。

洗いや 染物屋 洗いや  
ご機嫌ななめだな。

ご機嫌ななめつていうより、もうほぼ垂直だね。ご機嫌、最悪。怒髪天を衝く、って感じ？ あんたも帰ったら。

洗いや 洗いや

染物屋 あんたがここでブーツと待ってても、探し物が出てくるわけじゃないでしょ。そりやまあそうだけど。

洗いや 染物屋 目障り。そんな暇があるんだったら、引換証でも探してたら。

洗いや 染物屋 探したよ。ホテルに戻って、全裸になって、洋服の・・・

染物屋 ちよつと待て。何故に全裸。

洗いや ひよつとしたら知らない間に。パンツの中に入ってるかもしれないだろ。

染物屋 あんたは勝新か。

洗いや 染物屋 とにかく、全裸になって、洋服のポケットも、靴の中も、机の中も探したけれど見つからないのでフツフーなんだよ！！

染物屋 それはご愁傷様。

洗いや 人ごとだな。

染物屋 人ごとだもん。

洗いや 染物屋 ああ、もう、なんでこんな奴らのために。もうなんかどうでも良くなってきた。た。

染物屋 よし、あきらめろ。そして帰れ。

洗いや 泣くぞ。

染物屋 え？

後で後悔するぞ。「ああ、あの時、あの人に、ちゃんと親切にしておけば、こんなことにはならなかったのに」って。泣き崩れるぞ。やもすれば、ヨヨと泣くぞ。

染物屋 見てみたいね、ヨヨ、と泣く人。

洗いや このままだと、俺が泣くぞ。

染物屋 泣くなら外で。

洗いや 協力してくれ。

染物屋 断る。

洗いや 話ぐらい聞いてくれ。

染物屋 断る。忙しい。

洗いや 忙しいって、そこに立ってるだけだろ。

染物屋 立つのが忙しい。

洗いや 立ったままでいいから、とにかく聞いてくれ。実は、明日の朝に、ある人と

待ち合わせをしてるんだ。

染物屋 出会い系？

洗いや 違う。

染物屋 じゃあ、出会わない系？

洗いや なんだそりゃ。

染物屋 あ、もしもし、じゃあ、今晚、8時にい、川端通り商店街の、お仏壇屋さ

んの中で、まってます。

染物屋、カウンターの下に消える。

と同時に選択屋があらわれる。

選択屋 よし、8時5分前に到着。えーと仏壇屋、仏壇屋って、どの仏壇屋だよ！！

っていうか、中って、仏壇屋どころか店全部シャッター閉まってるじゃん。

・・・こんな感じ。出会わない系。

何事もなかったかのように続けるな。どこ行った、染物屋。

休憩。

ああ、もう・・・。

続きは？

え？

待ち合わせをしてて、それで？

聞いてたのか？

聞いていました。1、聞こえよがしに、2、聞くとはなしに。

まあいいや。それで、お互いは面識がないんだけど、共通の知り合いのAさ

んって人が居て、

珍しい名前ね。華僑？

仮名だよ。話をわかりやすくするために、仮にその人をAさんとします。

そのAさんが色々伝言とか、段取りとかしてくれてるんだけど、その人がいつも着てる赤いシャツを借りて、俺が着ていけば間違いない、ってことになったわけ。で、Aさんは、俺に貸す前にここにクリーニングに出してくれて、その時の引換証を渡そうとしてくれたんだけど、どうしても俺とAさんのスケジュ

ールが合わなくて、Aさんは、その引換証をBさんって人にあずけて、俺はBさんから引換証を受け取って、ここに来たんだけど

なくしちゃったわけね、引換証。

で、探してもらったんだけど、

赤いシャツが見あたらない、と。

そうなんだよ。

じゃあさ、とりあえず待ち合わせ場所に行ってみて、赤いシャツの男と待ち合わせしてる人ー！！ って大声で叫んでみたら。

そうも行かない事情があるの。

ふーん。・・・怪しい。

色々あるんだよ、本当に。

で。協力って、何をして欲しいの。1、もう一度赤いシャツを探して欲しい2、一緒に引換証を探して欲しい 3、一緒にAさんに謝って欲しい アタシはアンタのママじゃない。

って、まだ選んでない。あの、これ以上は詳しく話せないんですけど、1番で。もう一度、探してもらえないでしょうか、シャツ。もちろん、洗う方のセントクヤじゃないあなたに頼むわけですから、それなりのお礼はさせてもらうつもりです。

お礼って、いやいやそんな、いただけません。

受け取ってください。

(手を出して貰う気満々) 受け取れません

社交辞令ですか。

もちろん。ところでさ。

なんででしょう。

探すって言っても、本当にものすごい数だから。引き取り待ちの洗濯物ね、ここに吊してある分以外に、裏の倉庫の1階から13階までぎっちり。

13階！？ じゃあ、裏のほうに見える塔みたいな建物って

そう。洗濯屋んこの倉庫。

マジかよ。

だから、探すにしても、ある程度絞り込んでやらないと、絶対に見つからないわよ。

・・・。

いつ頃？ 洗濯物、預けに来たのは。

多分、ここ1ヶ月以内だと思うんですけど。

じゃあ、11階から12階にかけてぐらいか。・・・そのAさん、本名は？

それが・・・忘れました。

じゃあ、連絡先とかは。

それもちよっと。

じゃあ、赤いシャツって、どんなシャツなの。

いやあ、どんなだか。

選択屋  
洗いで、探してもらったわけね、引換証。  
選択屋  
洗いで、探してもらったんだけど、  
選択屋  
赤いシャツが見あたらない、と。  
選択屋  
そうなんだよ。  
選択屋  
じゃあさ、とりあえず待ち合わせ場所に行ってみて、赤いシャツの男と待ち  
選択屋  
合わせしてる人ー！！ って大声で叫んでみたら。  
選択屋  
そうも行かない事情があるの。  
選択屋  
ふーん。・・・怪しい。  
選択屋  
色々あるんだよ、本当に。  
選択屋  
で。協力って、何をして欲しいの。1、もう一度赤いシャツを探して欲しい  
選択屋  
2、一緒に引換証を探して欲しい 3、一緒にAさんに謝って欲しい アタシ  
選択屋  
はアンタのママじゃない。  
選択屋  
って、まだ選んでない。あの、これ以上は詳しく話せないんですけど、1番  
選択屋  
で。もう一度、探してもらえないでしょうか、シャツ。もちろん、洗う方のセ  
選択屋  
ンタクヤじゃないあなたに頼むわけですから、それなりのお礼はさせてもら  
選択屋  
うつもりです。  
選択屋  
お礼って、いやいやそんな、いただけません。  
選択屋  
受け取ってください。  
選択屋  
(手を出して貰う気満々) 受け取れません  
選択屋  
社交辞令ですか。  
選択屋  
もちろん。ところでさ。  
選択屋  
なんででしょう。  
選択屋  
探すって言っても、本当にものすごい数だから。引き取り待ちの洗濯物ね、  
選択屋  
ここに吊してある分以外に、裏の倉庫の1階から13階までぎっちり。  
選択屋  
13階！？ じゃあ、裏のほうに見える塔みたいな建物って  
選択屋  
そう。洗濯屋んこの倉庫。  
選択屋  
マジかよ。  
選択屋  
だから、探すにしても、ある程度絞り込んでやらないと、絶対に見つからない  
選択屋  
わよ。  
選択屋  
・・・。  
選択屋  
いつ頃？ 洗濯物、預けに来たのは。  
選択屋  
多分、ここ1ヶ月以内だと思うんですけど。  
選択屋  
じゃあ、11階から12階にかけてぐらいか。・・・そのAさん、本名は？  
選択屋  
それが・・・忘れました。  
選択屋  
じゃあ、連絡先とかは。  
選択屋  
それもちよっと。  
選択屋  
じゃあ、赤いシャツって、どんなシャツなの。  
選択屋  
いやあ、どんなだか。

選択屋  
洗いか  
それじゃ探しようがないでしょ。・・・本当に知り合いなの？  
はい。

選択屋  
洗いか  
Aさんに連絡は？  
それもちよつと。  
なんなのそれ。

洗いか  
あの、実は。直接会ったことないんです。連絡も、いつも向こうから入るだけなんで。

選択屋  
ねえ。

洗いか  
はい。

選択屋  
ものすごく怪しいんだけど。

洗いか  
そこを何とか。

選択屋  
あなた、何者？

洗いか  
それは、ちよつとここでは。

選択屋  
秘密？

洗いか  
口は、固いほうですか？

選択屋  
固い固い。もう、チタン合金かってくらい固い。

洗いか  
それって、固いけど軽くありませんか。

選択屋  
そうとも言うね。

洗いか  
教えられません。

選択屋  
探すのやめようかなー。

洗いか  
あの、じゃあ、シャツが見つかったら、その時に。

選択屋  
よし。じゃあ、それで。

洗いか  
よろしくお願いします。

選択屋  
(店の奥に手招き) こっち。

洗いか  
え？

選択屋  
急ぐんでしょ？

洗いか  
いいんですか？

選択屋  
関係者同伴つてことで、まあ、いいでしょ。

洗いか  
ありがとうございます！

選択屋  
じゃあ、しゃがんで。

洗いか  
え？

選択屋  
ここに、しゃがむの。

洗いか  
こうですか？

洗いか、言われるままにしゃがむ。

選択屋、洗いかの背中にこなきじじいのようにとりつく。

洗いか  
うわっ、な、なんですか。

選択屋  
はい、立って。

洗いや、選択屋を背負ったまま立ち上がる。

洗いや、お、重……。

選択屋 おも！？

洗いや おもしろい。おもはゆい。決して重くなんかない。

選択屋 はい、出発。

洗いや あの、これは、いったい。

選択屋 はい、11階までゴー！

洗いや ゴーって。

選択屋 もちろんエレベーターなんかないから、階段でゴー！

洗いや えええええ！？

選択屋 それが嫌なら梯子でゴー！

洗いや えええええ！？

選択屋 はい、3・2・1、

洗いや わかりました。階段でゴー！！

洗いやと選択屋、猛スピードで去る。

染物屋、カウンターから出てくると背伸びをひとつ。

染物屋

暇だ……。何もすることがないのに、この場所から離れられない。人生において、そこまで不毛なことが他にあるだろうか。忙しすぎる人生も考え物だが、死にたくなるほどの暇よりはマシだ。

染物屋、たまらずあくびをひとつ。

染物屋

あくびをしても一人。咳をしても一人。何をしても一人。それを孤独と呼ぶのか、それとも自由と呼ぶのか。私にはわかりません。旅人でない私には、旅人の心などわかりようもなく。引き取り手のない、この累々たる衣類の山、その山のあなたに、ただ想像を巡らせるだけです。

ああ、またこの人も、帰ってはこないのだと。だから、いらっしやい、といながら、心の中でお別れをしました。会話は別れのはじめのようで、春は別れの季節のようで、旅立つあなたの背中に、残された一枚のシャツに、心の中で声をかけました。いつてらっしやい。そして、さようなら、と。

ここにもないものは、きつとどこにもないのに。

ここにもないものは、きつとどこにもないのに。

……イマイチ、詩的じゃないなあ。

染物屋、ぼんやりと空の向こうを見上げる。

(シーン2終了)

と、忘れ者、扉を開けてやってくる。

忘れ者

邪魔するよ。

と、店の中には誰の姿もない。

忘れ者

む？ こんばんわ。(自分で) いらっしやいませー。たのもー。(自分で) どれー。そもさん。(自分で) 説破。どなたかいらっしやいませんかな。(自分で) いらっしやいません。うむ、これが本当の自問自答。(一人で忍び笑い) クッククツツ

がば、とカウンターから染物屋が起きあがる。

染物屋

ああ、いつてらっしやい！

忘れ者

行つてきます。

忘れ者、出て行こうとして・・・

忘れ者

お、母さん、ハンカチ、ハンカチ忘れた。・・・じゃなくて。

忘れ者、再びカウンターへ

染物屋

いらっしやい。

忘れ者

そう。それが正解。

染物屋

何が？

忘れ者

お客さんが入ってきた場合の第一声として。

染物屋

いらっしやい。・・・そう言いましたよね？

忘れ者

いや、何か「いつてらっしやい」と送り出されたような気がするのですが。

染物屋

聞き間違いでしょ。

忘れ者

目はともかく、まだ耳は遠くないつもりでいるのですが。

染物屋

つい本音が。

忘れ者

え？ ついにホンダが？

染物屋

大丈夫ですか、耳。

忘れ者

自分ではまだまだ元気なつもりです。

染物屋

お大事に。

忘れ者

どうも。時に、あのお嬢さんは。

染物屋

お嬢さん？

忘れ者

先ほど、傘をお借りした。

染物屋  
ああ、洗濯屋。

忘れ者  
ええ。

染物屋  
上。洗濯物、干してます。呼びます？

忘れ者  
あ、いや、それには及びません。傘を返しに來ただけですから。

染物屋  
ああ。そうですか。

忘れ者  
あの、ところで。

染物屋  
なんでしょう。

忘れ者  
今日はその後、お客さんは？

染物屋  
その後もなにも、うちは朝からゼロ。

忘れ者  
先ほどは、一人いらつしやったとうかがいましたが。

染物屋  
それは洗濯屋の客。

忘れ者  
失礼ですが、あなたは？

染物屋  
染物屋です。

忘れ者  
ああ、染物屋さんで。

染物屋  
客じゃないヤツなら一人來ましたけど。

忘れ者  
それは？

染物屋  
押し売り。

忘れ者  
今時押し売りですか。そんなものは渥美清と一緒にこの世からなくなったの

かと思つてました。

染物屋  
いいませんか、詩。つて。

忘れ者  
詩ですか。

染物屋  
しかも倒置法で。

忘れ者  
倒置法で。いまだきそんな思わせぶりに、その人は。

染物屋  
流しの詩人だとか言つてましたけど。

忘れ者  
ほほう。その人は、どうでしたか、晴天の霹靂のような男ではありませんで  
したか。

染物屋  
そんな格好いいもんじゃなかったと思ひますけど。

忘れ者  
それでは、冬の稲妻のようでは。

染物屋  
谷村新司に似ていなくもないです。

忘れ者  
それでは、冬のリヴィエラのようでは。

染物屋  
森進一には似ても似つきません。

忘れ者  
そうですか。

と、突然の雷鳴。

まさに晴天の霹靂。

忘れ者  
今のは、近いですな。

染物屋  
そうですね。

忘れ者  
すぐ近くに落ちたような。

染物屋  
ええ。



忘れ者 大丈夫でしょうか。

染物屋 まあ、いつものことだし。

忘れ者 肝が据わっていらっしやる。

染物屋 まあ、近くっていつても、まだまだでしょ。

忘れ者 そんなもんでしょうか。

染物屋 光った後に音がしてるうちはまだまだ大丈夫。本当に近くに落ちた時は、落

ちた後から音が来るんです。

忘れ者 それは珍妙な。

染物屋 経験者は語る。

忘れ者 経験者って、落ちたこと、あるんですか。

染物屋 もうしょっちゅう。この辺で一番高いから、ここ。

忘れ者 確かに、目立ちますなこの建物は。この辺りからなら、何処にいてもよく見

える。

染物屋 ご用は、傘だけで？

忘れ者 ああ、そうだ。もう一件。私の人捜し。尋ね人の写真が出てきました。え

ー、これです（カウンターの上に写真を置いて）ホテルに帰って、よく探して

みましたら、

染物屋、上下が逆で見にくいのか、ひっくり返そうと写真に手を伸ばす。

忘れ者 いつのまにかパンツの中に入っていたようで。

染物屋 （触りそうだった）うわあ。

忘れ者 いったいどうしていつそんなところに入れたのか、全然記憶にないんです。

年のせいでしょうか。

染物屋、カウンターから出てきて、写真を覗き込む。

染物屋 この人。

忘れ者 何か。

染物屋 来ました、さつき。

忘れ者 なんと。

染物屋 流しの詩人。

忘れ者 倒置法の？

染物屋 ちよつと雰囲気違うような気もするけど。

忘れ者 違うというと。

染物屋 こんなデューク東郷みたいにするどい目つきじゃなかった。どちらかといえ

ばデューク更家のようなぬめつとした。

忘れ者 ご無事でしたか。

染物屋 はあ。

忘れ者 何もされませんでしたか。

染物屋

つきまとわれた以外は。

忘れ者

不発か。いや、それは何より。不幸中の幸い。その男、どちらに。

染物屋

さあ。まだその辺に居るんじゃないですか。雨が上がるまでは、ここに居ましたから。

忘れ者

そうですか。では、失礼。

忘れ者、急ぎ外へ。

と、奥の階段からドタドタと音がする。

選択屋

(声) 駄目だつてば

洗濯屋

(声) 困ります。

洗い者

(声) お願いします。

選択屋

(声) だから駄目だつてば。

と、絡み合うように奥から洗濯屋、選択屋、洗い者の三人が出てくる。

洗い者、赤っぽい服を根こそぎ持ち出そうとしている。

洗い者

借りるだけ、借りるだけです。必ず返しに来ますから。

染物屋

ちよつと、何事。

洗濯屋

返してください。

洗い者

返します、明日の夕方までには必ず。

選択屋

だから駄目だつて言ってるでしょ。

染物屋

何やってんの。

洗濯屋

この人、倉庫の中の赤い服、

選択屋

片っ端から持ち出そうと。

染物屋

なんだと？ コラ、返せ、泥棒。

洗い者

泥棒じゃありません。

染物屋

泥棒じゃなければ強盗！

洗い者

そう呼ばれても構いません。行かなければならないです。強盗してでもゴウトウしなければならぬ場所があるんです。どうしても必要なんです、この服が。きつとこの中のどれか、赤いシャツ。脱北者を、迎えるための目印です。この争いを終わらせられる、そんな男を迎えるための目印です。河を越え、国境を越えた向こう岸の船だまり、明日の朝、私が舳先に立つ船を目印に。だから、どうしても、いかなければならないんです。

洗い者、女三人を振りほどいて、店を飛び出そうとする。

洗濯屋

何のために。

洗い者

お国のためです。

音楽。

洗濯屋と染物屋以外の時間が、静かに止まる。

洗濯屋

そう言つて、あなたは旅立っていきました。

染物屋

お国のためだと、そう言つて、あなたは旅立っていきました。

洗濯屋

平和のためだと、そう言つて、あなたは旅立っていきました。

染物屋

必ず、帰ってくるからと、

洗濯屋

必ず、帰ってくるからと、そう言つて振り向いた背中に、行ってらっしゃい、

と、声をかけました。

染物屋

行つては駄目だ、と、声をかけました。

洗濯屋

気をつけて、と、声をかけました。

染物屋

行かないで、と声をかけました。

洗濯屋

風が吹きました。強い、強いつむじ風。

染物屋

風の中、駆けだしたあなた

洗濯屋

いったい、どちらの言葉を胸に旅だったのでしょか。

染物屋

ああをとうとよ、君を泣く、

洗濯屋

君死にたまふことなかれ

染物屋

末に生まれし君なれば

洗濯屋

親のなさはまさりしも、

染物屋

親は刃をにぎらせて

洗濯屋

人を殺せとをしへしや

染物屋

人を殺して死ねよとて

洗濯屋

二十四までをそだてしや

染物屋

紙切れ一枚と引き替えに旅だった君。

洗濯屋

万歳の声、送られて旅だった君。今日もなんだか分からないもののために戦

つているのでしょか。

染物屋

だから、彷徨い流離う君が、戻るべきこの場所を見失わないように。

洗濯屋

神の怒りに触れるほどに高く。

染物屋

君の祈りが届くよう高く

洗濯屋

君が何処にいようと、空見上げれば、そこに。

染物屋

彷徨い流離う君が、戻るべきこの場所を見失わないように。

洗濯屋

空高く、白旗のように、シャツを干そう。

染物屋

青い空、白いシャツ。

洗濯屋

今日も目にまぶしく、哀しいほどに、真っ白です。

またも、落雷。

選択屋

近い！

赤いシャツを手に、外に飛び出していく洗いや。

と、入れ替わりに扉が勢いよく開く。  
そこには目つき鋭い流れ者の姿。  
外で大きな爆発音。  
確かに戦場の音が響き渡る。

流れ者 シ、要りませんか。  
染物屋 間に合ってます。  
流れ者 要りませんか、シ。  
洗濯屋 結構です。  
流れ者 要らなくても、もらってももらいます、死。だって、押し売りですから。

流れ者、洗濯屋と染物屋に向かって飛び込んでくる。  
間一髪それをかわす二人。  
流れ者、勢い余って店の奥へ突っ込む。  
と、店の奥から爆発音がする。  
慌てて忘れ者が飛び込んでくる。

忘れ者 大丈夫ですかな！  
洗濯屋 ええ、なんとか。  
選択屋 今のは？  
忘れ者 流れ弾です。  
染物屋 流れ弾？  
忘れ者 ええ、あてどなく彷徨う、流れ弾。

と、入れ替わりに扉が勢いよく開く。  
そこにはまたしても目つき鋭い流れ者の姿。

流れ者 死、要りませんか。要りませんか、死？ 要らなくても、もらってももらいま  
す、死。だって、押し売りですから。

流れ者、突っ込んでくる。  
忘れ者、その腕をとり、扉の方へ投げ返す。  
外で大きな爆発音。

忘れ者 ふう。きりが無い。ああ、鍵、扉に鍵を。  
洗濯屋 あ、ああ、はい。

洗濯屋、扉を閉めて鍵をかける。  
と、激しく扉を叩く音。

忘れ者

静かに。

扉をガタガタと開けようとする音。

洗濯屋

篤三郎（ちゆうざぶろう）！？

染物屋

落ち着いて、そんなわけない。

洗濯屋

でも、もしかしたら。

流れ者

（声）詩、要りませんか？

選択屋

ほら！

流れ者、あきらめたのか、静かになる。

忘れ者

申し訳ない。私があの時、最初の一発を撃ちさえしなければ、こんなことは。

洗濯屋

最初の一発？

忘れ者

ええ、この争いの始まりの。

選択屋

じゃあ、あなたは軍の？

忘れ者

いえ、ただの猟師です。

染物屋

猟師？

忘れ者

ええ、鹿打ちの猟師です。いえ、でした。

あの日も、いつものように、山で鹿を追っていました。逃げる鹿を追うままに、山奥に分け入り、気がつけば国境のあたりまで来たときです。サラサラと小川の流れる音がしました。草木の陰から盗み見れば、鹿は川の水を飲んで休んでいます。これ幸いと、狙い定めて撃ちました。

しかし、その弾は当たりませんでした。気づかれたんです。鹿はひらりと身をおかわずと、茂みの中へと逃げ込みました。それを追おうと立ち上がったときです。

撃ち返して来たんです、一斉に。国境の警備兵だったのか、それとも演習中の部隊だったのか。逃げました。獲物を狙うのは慣れてるが、さすがに狙われるのには慣れてない。這々の体で山を下り、里に戻って見回せば、至る所に火の手が上がり、銃声が鳴り響いていました。

偶然なんじゃ。

染物屋

そうだろうかとも思います。そうであってほしいとも思います。縛れた糸を

忘れ者

ほどくなら、早いほうがいい。縛れすぎた糸はやがては切るしかなくなる。そ

う思いながら、あの際の、最初の一発の流れ弾。探し続けてはや3年。もしかしたら、まだ流れ弾のまま、流れ続けているんじゃないかと。目標を見失ったまま、流れ続けているんじゃないかと。

と、突然奥から流れ者があらわれる。

流れ者 詩、要りませんか？

と、女の方へ歩み寄る流れ者。

流れ者 要りませんか、詩？  
女三人 !!!  
危ない、伏せて!!

流れ者、流れ者に飛びつく。  
押し倒される流れ者。  
間。

忘れ者 おろ？

流れ者、爆発する様子がない。

流れ者 なんですか、なんですか、詩は売っても、体は売りません。汚されるくらいなら、ここで舌を噛んで死にます。  
忘れ者 いやまで早まってはいかん。そんなつもりは毛頭ない。  
流れ者 じゃあ、離してください。  
忘れ者 こりゃ失敬。

流れ者、身を起こして・・・

流れ者 先ほどはどうも。いや、ひどい雨です。機銃掃射の雨あられ。とても歩いてられません。そんなわけで、ちよつと雨宿りを。  
洗濯屋 いったいどこから。  
流れ者 いや、そこ、穴開いてたんで。はじめは表から来たんですけど、なんか扉に鍵かかってて。  
忘れ者 探したぞ。

忘れ者と流れ者以外の時間が止まる。

流れ者 あの、どちらさまですか？  
忘れ者 忘れたのか。  
流れ者 忘れたというよりも、はじめから知らないような気が。  
忘れ者 本当に大きくなったなあ。  
流れ者 親戚の叔父さんですか。  
忘れ者 ほら、三年前  
流れ者 そんな昔のことは覚えていません。

忘れ者 山の中で

流れ者 なんてそんなところで。

忘れ者 鹿に向かってお前を撃った。

流れ者 鹿に？ 売った？

忘れ者 そう、鹿に？

流れ者 なんで鹿に？ しかも売ったって？ 人身売買？ しかも鹿に？ 詩歌じゃ

なくて、鹿ですか？

忘れ者 それはお前が弾だから。狙い定めて引き金引いて、鹿にドカンと撃ちました。

流れ者 撃ったの？

忘れ者 撃ちました。だけど、鹿に逃げられかわされて、外れたお前は流れ弾。

流れ者 流れ流れて、幾年月。流れるうちにカドが取れ、すっかり丸くなりました。

なのに、どうしてでしょう。狂おしいほどに、誰かの胸を買きたい。

忘れ者 それはお前が流れ流れる流れ弾だから。

流れ者 弾じゃないです、詩人です。流れ流れる流れ者です。

忘れ者 それでもお前は弾だから。

流れ者 弾は弾でもコトダメです。心貫く詩人です。

忘れ者 それでもお前は弾だから。触れば相手を傷つける、悲しい宿命めの弾だから。

流れ者 流れ流れているうちに、だんだん忘れてきてたのに。流れ流れているうちに、

すべて忘れたはずなのに。流れ流れているうちに、みんな忘れるはずでしょう。

時が全てを忘れさせ、洗い流してくれるのに。どうして今更現れて、どうして

今更そんなこと。

忘れ者 それは、お前が弾だから。あの日の森に木霊した、始まり告げた弾だから。

流れ者 死を見るのも、苦を見るのももうごめんです。苦痛に顔ゆがませ、流れるよ

うに死に向かう、そんな死も苦もまっぴらです。詩を詠い、句を詠い、詩に心

震わせ、句で心通わせ、そんな私で居たいのに。同じ弾ならフワフワと空を流

れるシャボン玉。そんな私で居たいのに。みんな私を悪玉と呼んで飛礫を投げ

つける。全ての罪はお前のものと、私一人を槍玉に、あげて罵声を投げつける。

激しい波と流れの中で、洗い落とされたケガレです。やっと忘れたはずなのに、

やっと拭ったはずなのに。

撃った、私の罪だ。だからこそ、ずっとお前を探していた。終わりを告げる

号砲を、鳴り響かせるために。

流れ者 お断りです！！

お断りです！！

お断りです！！

静かな間。

流れ者 お断りです。・・・なのに、どうしてでしょう、狂おしいほどに、誰かの胸

を買きたい。

忘れ者 貫け、言葉で。

流れ者 言葉で。

流れ者 言葉で。

忘れ者 貫け、詩歌で。  
流れ者 詩歌で。  
忘れ者 貫け、鹿を。  
流れ者 仕返し、報復の連鎖を。  
忘れ者 貫け。  
流れ者 しかめっ面の高級士官を。  
忘れ者 貫け。  
流れ者 弛緩した世界の仕掛けとからくりを。  
忘れ者 貫け。  
流れ者 しがらみだらけの不確かな世界を！  
忘れ者 貫け。そして、鮮やかにましろに染めよう。青天の霹靂のように！

流れ者、はじめられたように店の奥へ飛び込み、階段を駆け上がる。  
急ぎ後を追う忘れ者。  
激しさを増す砲撃。  
爆風に煽られる洗濯物。  
と、染物屋、突如立ち上がり、後を追おうとする。

選択屋 駄目！  
洗濯屋 (行方を遮って) 危ない。駄目よ。  
染物屋 どいて。  
選択屋 駄目だっば！！

奥からさらに爆音。  
階段が崩れ落ちる音。

染物屋 こっちはもう駄目か。

染物屋、梯子を登り始める。

洗濯屋 戻って！  
選択屋 危ないから、ほら！

染物屋、ひたすら梯子を登り続ける。

染物屋 見届けないと。もしも本当に、世界を一色に染め抜くことができるなら。

染物屋、梯子の天辺から世界を見下ろす。  
と、屋上の洗濯物の隙間から、忘れ者と流れ者が顔を出す。  
忘れ者、流れ者を肩に構えて・・・



忘れ者

行くぞ。前線を切り裂き、戦場を走り抜け、その言葉で、全てを貫け。

山、河、海。谷、森、砂漠。色が世界を分けるなら、色が人を分かつなら、真っ白に。すべてをましろに。見晴るかす大地、その果てまでを、ひとつの色に。狙え、河を越え、森を越え、茂みの向こうのその町の白亜の城のその主の、茂みと同じ名の男。・・・これが私の最後の狩りだ。

流れ者

言葉に魂を。打ち放つ言葉に、コトダマという弾を。鉛の弾では何も変わらない、世界の心臓を貫くために。

忘れ者

狙え。夕暮れの、一瞬の風を。

静かに風が吹き続けている。

流れ者

・・・そうだ。

忘れ者

どうした。

流れ者、階下に向かって・・・

流れ者

最後の1000デイナー。どんな詩にしましょうか。喜びの詩、悲しみの詩、恋の詩、別れの詩。

染物屋

希望の詩を、絶望のような希望の詩。

流れ者、静かに頷く。

流れ者

見上げれば、こんなに広い空がある。

静かな間。

染物屋

・・・詩的だね。

忘れ者

風が、止まる。もうすぐだ。・・・今だ、行けーっ！！

激しい発射音。

ストロボのような激しい光の中、忘れ者と流れ者の姿が静かに消える。

轟きわたる雷鳴。

不気味な地鳴りの音。

ガタガタと店の中のもの揺れ始める。

小さく、落雷の音。

つるしてあった洗濯物が、一つ二つと落下し始める。

洗濯屋

危ない、降りて！！

選択屋

早く、急いで！！

染物屋、急ぎ梯子を降り始める。  
轟音。

ついに残り全ての洗濯物が一斉に地に墜ちる。  
静かに、暗転。

(シーン3終了)

静かに夜が明ける。  
一面の瓦礫の山。  
その中、静かに佇む三人の女。

洗濯屋# また、洗い直しか。  
染物屋# また、洗い直しか。  
選択屋# また、洗い直しか。

静かに、ワルツ。

黙々と、地に墜ちたシャツを拾い集め、元に戻そうとする女。  
永遠に続くかのような、空虚な繰り返し。  
女達、ふと手を止め・・・

選択屋 時々途方にくれることがある。  
洗濯屋 洗っても、洗っても、洗いつくせない程の洗濯物。  
染物屋 着て、汚れ、そして洗う。繰り返し、繰り返し、無限連鎖。  
選択屋 擦り切れ、朽ち果てるまで止まらない、終わらない日常。  
洗濯屋 洗っても、洗っても、洗いつくせない程の洗濯物。  
染物屋 洗えば、また着、また汚れ  
選択屋 そんな終わらない日常。それがいつの日か終わることを夢見て。  
洗濯屋 今日も見上げれば、青空。  
染物屋 「見上げればこんなに広い空がある」  
選択屋 病床の詩人がそう詠んだ、  
洗濯屋 自由律の一句を思い出していました。  
染物屋 でも、それも一瞬。  
選択屋 一瞬だけの奇跡。  
洗濯屋 青天の霹靂は確かに世界を真白に洗い  
染物屋 一瞬だけ、世界をましろに染めました。  
選択屋 でも、それも一瞬。  
洗濯屋 それがすぎれば、何事もなかったかのような、色を失った終わらない日常。  
・・・また、洗い直しだ。

女達、また洗濯物を拾い集める。  
と、戸口に男の姿。

洗濯屋 いらっしやいませ。

男、カウンターへ。

洗濯屋

お預かりですか？

男、静かに赤い引換証を取り出す。  
静かな間。

洗濯屋

・・・おかえりなさい。

音楽。

引換証を手に、次々とやって来る男達。  
女たち、受け取った引換証を破いては、軽やかに空に。  
空から、無数の紙吹雪が舞い落ちる。  
と、洗濯屋の手が止まる。  
その視線の先に、一人の男。  
洗濯屋、両手にもった赤いシャツを男に差し出し、静かに立ちつくす。  
やがて、溶暗。

(幕)

脚本執筆に際し、下記の詩人・俳人の詩句を引用しました

「山のあなた」

カールブッセ／上田敏訳

「君死にたまうことなかれ」

与謝野晶子

種田山頭火句集「草木塔抄」

種田山頭火

尾崎放哉句集「尾崎放哉全句集」

尾崎放哉

住宅顕信句集「未完成」

住宅顕信